

いわて

議会をより

2012.03

23

Contents

- 2 第2回市議会臨時会、第4回市議会定例会、一般質問
- 10 委員会報告
- 12 3月議会の本会議開催予定日 フォトギャラリー

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成23年第2回臨時会及び第4回定例会

案 件 名	結 果	賛否 ○……賛成 ×……反対																
		公明党 議員団		日本共産 党議員団		岩出クラブ		民主いわで		ネット岩出			尾 和 弘 一					
		田 畑 昭 二	玉 田 隆 紀	宮 本 要 代	市 来 利 恵	増 田 浩 二	上 野 耕 志	福 山 晴 美	田 村 耕 一	山 本 重 信	土 岐 健 二	松 下 元		三 栖 慎 太 郎	田 中 宏 幸	井 神 慶 久	吉 本 勸 曜	山 下 久 美 子
職員の給与に関する条例等の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度岩出市老人保健特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度岩出市水道事業会計収入支出決算認定	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市税条例等の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市都市計画税条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市一般会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成23年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度岩出市水道事業会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市火葬場の指定管理者の指定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（議長のため、賛否に加わることが出来ない。）

一 般 質 問

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
※内容等については質問者にお問い合わせください。

土 岐 健 二 議員 3 頁

- 市の消防行政について
- 寄付金について
- 平成24年度各部署の運営方針について

宮 本 要 代 議員 4 頁

- 防災について
- ワクチン接種について
- 妊婦健診について
- 学校でのゴミの現状について

三 栖 慎 太 郎 議員 5 頁

- メール配信サービスの登録促進について
- 期日前投票所の設置拡大について

市 来 利 恵 議員 6 頁

- これまでの減量施策の取り組みについて
- 環境省が出している一般廃棄物処理有料化の手引きから見る岩出市の有料化
- 今後の取り組みについて

尾 和 弘 一 議員 7 頁

- 児童と乳児の命を守ろう
- 特別職について
- 家庭系ゴミについて
- 請願について
- 警備員について

増 田 浩 二 議員 8 頁

- T P P問題について
- 国民健康保険施策の改善を
- 介護保険制度について

田 畑 昭 二 議員 9 頁

- リサイクル工場の設置について
- 生ごみ再利用について
- 地方分権に伴う事務量の増加について



土岐 健二 議員
(民主いわで)

女性消防団員の登用を!

(質問)

- 市の消防行政について
- 機動隊を廃止し、消防団に統合する考えは。
- 消防団員の制服を統一する考えは。
- 消防団員の上限年齢制限の考えは。
- 女性の消防団員を育てる必要があると考えるが、市の考えは。

(答 弁 総務部長)

●機動隊には消防ポンプ車を配備しており、鎮火はもとより延焼を防ぐためにも、機能を最大限活用し、対応する役割がある。押川区のように山間部で部隊を配置していないところもあり、機動隊の見直しは考えていない。

●消防団の制服は、紺の活動服と夏服の2種類を使用していますが、消防団の服制基準が改正され、基準に則した活動服の導入に向け、検討していきます。

●市の消防団条例では団員は18歳以上としてお



り、上限年齢についての規定はないが、消防団等の活動には知識と経験を有する団員も必要であり、現在のところ考えていませんが、他の市町村の状況も調査し、検討してまいります。

●消防活動には、女性に向いている活動もあり、県下で女性消防団員が11団あり、市としては、他市の女性団員の活動状況を研究し、消防団長と相談しながら検討していきます。

(質問)

- 今回の共同募金の市民の反応は。
- 未加入世帯への対応は。
- 金額の設定は。
- 今後の募金の活動について。

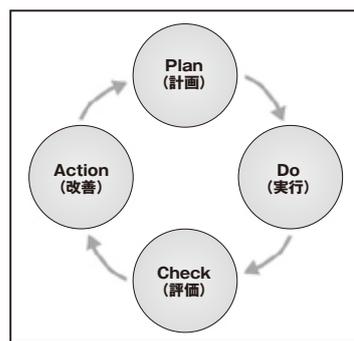
(答 弁 福祉部長)

●快く募金活動に応じた地域もある一方、「氏名金額を記入すべきではない。」「区長、自治会が協力しなければならぬのか。」「任意の寄付でありながら、募金額が示されている。」「といった市民、区長、自治会長からの意見があり反省材料として、実施の方法や手順等の改善に努めます。



(質問)

○PDCAサイクルの活用、内部統制を図り、事務事業の方向性、組織の健全化、信頼される組織づくりの視点等、リスク面の取り組みについての、各部署の平成24年度の運営方針は。



PDCA サイクル

(答 弁 総務部長)

●各課において職務のリスクを洗いだし、職員の意識改革やルール等の見直しや、PDCAサイクルを機能させ続け、事務内容を改善し、組織をあげてリスクにどう向き合うか、考える力を養うことに努めてまいります。



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

総合体育館に洋式トイレの設置を ワクチン接種・妊婦健診の公費助成は。

防災について

質問

被災者支援システムの導入について。
総合体育館に洋式トイレの設置を。

答弁

被災者支援システムはその動向や試験的利用の中で、データ更新やシステム等の保守の問題点等も踏まえ、引き続き調査研究を行い、システム導入を検討する。

洋式トイレの改装は 前向きに検討する。

総合体育館は

避難場所として指定されている。
平成27年、紀の国わかやま国体のバドミントン競技に予定されている。

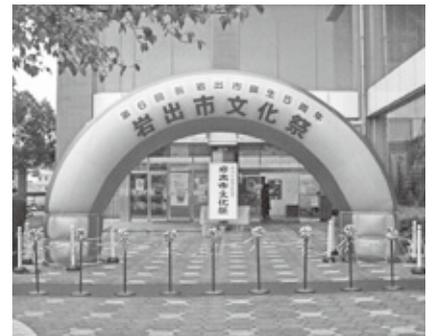
ワクチン接種と妊婦 健診について

質問

ワクチンの公費助成で接種の向上は見られたか。

答弁

接種件数	平成22年 2月1日 ～ 3月末	平成23年 4月1日 ～ 11月末
ヒブワクチン	360	1,203
小児用肺炎球菌 ワクチン	466	1,327
子宮頸がん予防 ワクチン	112	1,322



(市民総合体育館)

質問

子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンのワクチン接種緊急促進事業、また、妊婦健康診査支援基金は、平成24年3月末で終了する。

答弁

平成24年以降の公費助成の見直しは。

国は妊婦健診や3ワクチンの接種を促進するための基金として、平成23年度第4次補正予算案に関連経費を積み増す方針を固めた。市は国の方針に沿って事業の継続を図っていく。

ごみの現状について

質問

学校給食の食べ残しの現状と処理は。
ごみの有料化を児童生徒にどう啓発するのか。

答弁

栄養士が献立内容の工夫強化に取り組み、残食が減る傾向にある。

給食の食べ残しは

牛乳は業者に引きとらせている。
副食は水分を減らし、一般ごみとして処理している。

学校教育における取り組みを通して、児童生徒のごみに対する意識やマナーの向上に努め、公共心を育成する。



(学校給食)



三栖慎太郎 議員
(ネット岩出)

○メール配信サービスの登録促進で もっと便利に! ○期日前投票所の設置拡大で 投票を身近に!

メール配信サービスの登録促進について

質問 安全、学校・保育所、行政情報

を知らせるメール配信サービスの有効活用のため
○市職員もしくはボランティアが
○市のイベントや参観日等、人が集まる
○市民にとってついで
○の機会に
○会場等にコーナーを
○を設置し
○登録代行及び指導を
行い

世帯普及率90%超の携帯電話を、各種情報提供のために、もっと有効活用するべきではないか。

答弁 メール配信サービスでは、不審

者情報などの安心・安全情報、小学校・保育所の緊急時連絡を行う学校情報、市内放送と同内容の行政情報、さらに図書館情報を配信している。
平成23年11月現在の

登録アドレス数は4,973件で、平成22年度末と比較して、約23%増加した。

今後も内容充実及び広報誌やウェブ等での利用促進を図っていく。

登録代行及び指導については、個人情報保護の問題や、携帯電話会社によって操作が異なる等、困難もあるが、ブース設置の方向で検討する。なお、平成24年3月開催予定の「ふれあいまつり」での試行を検討する。



期日前投票所の設置拡大について

質問 直近の県知事選では、約38%

岩出市は投票率が低いイメージが定着してしまっている。

経済不況の今日、お金や時間の使い方は、とてもシビアで重要な問題。忙しい時間とガソリン代を使ってまで、わざわざ普段あまり行くことのない、市庁舎や公民館等に投票に出かけたいと思うだろうか。

ライフスタイルや価値観の多様化の時代にあつて期日前投票所設置の拡大とりわけ、週に1〜2回は行くであろうスーパーマーケット等への設置は投票率低下の歯止めには、大きく貢献する有効な施策と考えられる。
投票率向上のため、スーパーマーケット等、人が頻繁に出入りする場所に期日前投票所を設置すべきではないか。

期日前投票所の設置拡大について

質問 直近の県知事選では、約38%

岩出市は投票率が低いイメージが定着してしまっている。

経済不況の今日、お金や時間の使い方は、とてもシビアで重要な問題。忙しい時間とガソリン代を使ってまで、わざわざ普段あまり行くことのない、市庁舎や公民館等に投票に出かけたいと思うだろうか。

ライフスタイルや価値観の多様化の時代にあつて期日前投票所設置の拡大とりわけ、週に1〜2回は行くであろうスーパーマーケット等への設置は投票率低下の歯止めには、大きく貢献する有効な施策と考えられる。
投票率向上のため、スーパーマーケット等、人が頻繁に出入りする場所に期日前投票所を設置すべきではないか。



答弁 岩出市の最近の期日前投票者数は約22%を占めており、期日前投票所設置拡大は、投票率向上のための有効な手段の一つである。

しかし、スーパーマーケット等への設置は、○秘密や公正を確保するための場所や設備
○職員の人員配置
○通信回線の設置等
検討すべき項目が多く、現時点では考えていない。ただ、投票率向上に向けての、将来的な方策の一つであることは、認識している。

7月からのごみ有料化 実施の見送りを…



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

質問

市民には、有料化を押しつけながら、大量排出事業系ごみの減量対策は、手つかずのまま進められてきています。

国において製造、使用、販売業者に廃棄の段階まで責任を負わせていく、排出者責任、拡大生産者責任の制度をつくること
① 岩出市においても、事業者の責任をあいまいにさせないことが求められますが、今後の対策は、
② 生ごみ処理機の普及について、年100基の普及を目標としているが、年平均33件となっています。市民が集まる行事等で、実演など取り入れ、実践的にアピールの考えは。
③ 環境を守る審議会議事録の公開について、ごみの減量化は、施策の策定段階から市民参加を図ることが大事なことです。市民に関わる重要な問題。積極的な公開を。

答弁

① 生産者が製品の回収やリサイクルについて責任を持つべきと理解しているが、自治体が行うのは困難と考えている。

② PRを引き続き行い、イベントの場での実演については検討し、来年度予算に反映できるものはやっていきたい。
③ 原則は公開とするが、市民の皆様には混乱を与えるような部分については、非公開とさせていただきたい。



質問

住民説明会を、18箇所で開催され、参加人数は延べ904人と報告されています。参加されたのは、人口比で何%なのか。また、世帯比で何%だったのか。

答弁 説明会の参加は、人口比では1.69%、世帯比では4.32%。

市長へ質問

数字の現状を見ても、市民の方々が一定納得したと言え切れる数字ではないと考える。市長は、市民に納得いただけたと考えているのか。

市長答弁

市民の一定の理解を得られたという報告を伺っている。

質問

7月からの有料化実施を見送り、もう一度丁寧に市民にごみの現状を訴え、減量化に力を尽くしてもらおうよう努力することを提案するがどうか。



答弁

国・県も減量の有効な手段であるとして、必要であると判断して有料化を実施するものです。



尾和 弘一 議員

さぎのせ公園「ふわふわドーム」

12月13日現在 放射線量 0.14 ~ 0.15 μ シーベルト/h

内部被ばくの危険性あり

質問

福島原発爆発から11カ月が経過、未だに放射能が放出している。

①市長の原発に対する見解はどうか。

②地震対策と原発事故対策を求めます。

③放射能に汚染されたガレキ焼却受け入れをするのか。

④さぎのせ公園「ふわふわドーム」の放射線量が高い除染を求めます。

⑤保育所、小中学校等々の放射線量測定を求めます。

⑥岩出市内国民投票総数(541)の60%の市民が「原発やめるべき」と回答したが、この声についてどうか。

答弁

①脱原発と推進と言った対立で

とらまえるのではなく、事故を検証した上で国の責任において方向性を示し、理解がえられれば政策として推進していくことである。

②広域防災の主体となる



連合が設立され、津波・原子力災害対策が順次策定される。市においても見直し作業を行う。

③焼却場建設時に近隣自治会と協定しており、受け入れには承諾が必要になっている。県の台風廃棄物を受け入れる。東日本の汚染されたガレキは不可能である。

④国の方針として空間線量以内であり除染計画の対象はなく、除染は必要ないと考えている。

⑤異常値は示していないことから放射線量は特に問題はなく測定する予定はありません。

答弁

①週1回程度になれば新たな負担が少なくなるよう制度設計をしたい。

②清掃活動を行っていたために必要枚数を配布していきたい。

③原則として収集しない。資源ごみ袋として使っていたら良かった。

④実施までに可燃ごみ専用袋引換券を所帯毎に郵送させていただきます。

⑤目標値を達成しても有料化は継続していきます。

質問

⑥議員が独自に行ったものであり評価は控えた。各新聞社等の調査では約3分の2が脱原発という結果である。段階的に減らして将来はやめるが74%と答えている。

①一人暮らしの場合20Lの袋でも大き過ぎるので次の回収まで置くことになる。

②地区自治会活動の際のごみ袋は無償で支給するのか。

③現在販売しているごみ袋で出した場合回収はしないのか。

④一定量無料配布方法は誰が何時配布するのか。

⑤ゴミの減量化目標25%が達成された時点後も有料化を継続するのか。



国保税の引き下げにつながる 医療給付費増の対策を

疾患対策、健診の促進を



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

質問

① 国保利用者の生活実態を知る上で、課税所得割合の状況は平成15年度までしか調査をしていない。所得階層把握をすべき。

② 医療費削減へ、市としての対策を打つ上で市民の病気などの特徴面は。

③ 特定健診での受診後の市の問題意識はなにか。

④ 平成22年には、国保の差し押さえを330件行っている。生存権を脅かす手法の対応もあり、改めるべきではないか。

答弁

① 所得階層の把握については行っていききたい。② 疾患については、循環器系が16%で高血圧症、心筋梗塞。新生物が12%で胃ガン、乳ガン、肺ガン。消化器系は10%で胃炎、十二指腸炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、肝疾患などとなっている。

③ 受診関係で40〜50代は、全体の2割強であり工夫したい。保健指導は、途中で脱落される方の対応が課題である。④ 約束を守れない場合に差し押さえをしている。一方的にはしていない。



TPP問題、中芝市長の認識は

質問

① 日本経済や日本農業、国民皆保険制度の崩壊につながる「TPP参加」表明に対する市長の見解は。

② 「TPP参加」による岩出市への影響試算は。

③ 岩出市における農業支援策、商業支援策をどのように対応しようと考えているのか。

答弁

① 国から十分な情報は影響や対応策を明らかにする必要はある。

② 岩出市では、試算をしていません。

③ 「TPP参加」による各産業分野の対応策は、国が明確にすべきと考えている。国の対応策で必要なものがあれば対応する。

介護保険料高騰化の対策を

質問

① 要支援認定者を介護給付から除外できる仕組みが導入されたが、市の対応は。

② 介護保険料高騰対応、低所得者に対する負担軽減、区分階層の見直しを。

③ 県内で、岩出市だけが国の調整交付金が減らされ、減額分は1号被保険者が負担している。一般会計で削減分の補填を。

④ 日常生活圏域ニーズ調査がされているが、市の取り組み認識面は。

答弁

① 新たに創設される事業ですが詳細が不明なため未定。

② 介護予防に取り組む。介護保険料設定については、策定委員会でサービス費等の影響などを審議した上で慎重に検討していく。

③ 調整交付金に関しては岩出市と同様な市町村の調査を進めていきたい。

④ 住み慣れた地域で過ごせる体制づくり、相談窓口、情報提供が必要。





田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

リサイクル工房 の設置を!!

リサイクル工房の
設置を!

質 問

●ごみ減量化は循環型社会形成の構築には必須であり、ごみ分別による資源ごみのリサイクル化に対する認識や知識が必要となる。その一助としてリサイクル工房での実施体験での学習が有効である。リサイクル工房の設置の考えは。

前向きに
検討していく。

答 弁

リサイクル工房は、自らの体験を通して資源の有効利用を実感していただけるもので、ごみの資源化を推進するための啓発機能もあると考えている。

本年度で一連のクリーンセンターの整備が終了するので、リサイクル工房の設置については前向きに検討していきます。

質 問

生ごみの肥料化等への
定期的な講習会を。

●ごみの有料化にともない、市民の方々のごみの減量化に対する意識改革がさらに進み、可燃ごみの中でもかなりのウエイトを占める生ごみ対策の一助として、肥料化等への感心も高まると予想される。そこで、専門家による講習会等を定期的に行うてはどうか。



(家電リサイクル)

情報収集し、早い時期に
実施していく。

答 弁

循環型社会の形成に向け、生ごみを堆肥化し、花や野菜の栽培などに利用していくためのシステムを作り、生ごみの堆肥の作り方や堆肥の利用先などについて研究し、将来、有効利用できるように考えていく。

専門家による講習会は、できるだけ早期に実施していきます。



(生ごみの資源化)

質 問

地方分権の課題に対し、
具体的な対応は。

●地方分権がさらに加速されると、地方の権限が増大し、責任が重くなる反面、それに見合う財源の移譲は期待できず、このギャップをいかに埋められるかが大きな課題となってくる。その対策として具体的などのような対応を考えているか。

全国市長会を通して
国へ要望している。

答 弁

国・県からの権限移譲については、事務量の増加を見据えた定員管理や、県との人事交流、専門職員、技術職員の採用などに取り組み、今後、権限移譲にもなう財源の確保と専門的な人材育成等の仕組みを構築することを全国市長会を通して国へ要望しているところである。

各常任委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 井神 慶久
副委員長 土岐 健二
委員 上野 耕志
委員 市來 利恵
委員 山下久美子
委員 宮本 要代

☆平成23年12月4日

一日防災デー

消防委員として、一日防火デーの消防団部隊の視閲を行いました。



一日防火デー

※12月議会の委員会に付託された議案は次の4件でした。

①岩出市税条例等の一部改正
改正内容

- ・寄附金控除の適用下限額を20000円に。
- ・学校法人、社会福祉法人等への寄附金控除対象を拡大
- ・不申告等に対して科する過料の額を10万円に。
- ・上場株式等に係る軽減税率適用期間を2年間延長
- ・非課税口座内の特例措置も2年間延長

- ②岩出市都市計画税条例の一部改正
- ③岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

④平成23年度岩出市一般会計補正予算第3号の所管部分

- ・地域ふれあい子ども事業
- ・公民館で学習支援
- ・小学3年生以上
- ・水曜日(放課後)土・日
- 中学生は数学
- 親子ふれあい料理教室
- 根来小学校の改装
- 学校グリーン電力事業



厚生常任委員会

委員長 山本 重信
副委員長 三栖慎太郎
委員 田中 宏幸
委員 福山 晴美
委員 増田 浩二
委員 田畑 昭二

橋本市・紀の川市へ
委員会視察・研修を実施しました。

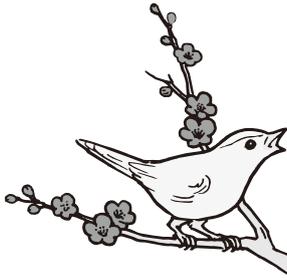
岩出市からの質問に答えていただきました。



- ・ごみ袋有料化を実施された背景。
- ・パブリックコメントの内容。
- ・ごみ袋代金の徴収方法と弱者への減免措置。
- ・ごみ袋有料化された前後のごみの量の推移。
- ・リバウンド現象があれば、その対策。
- ・ごみ袋売却収入の活用方法。
- ・無料支給するごみ袋の算定根拠。

12月議会の委員会に付託された議案は次の7件でした。

- ① 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- ② 岩出市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- ③ 一般会計補正予算（所管部分）
- ④ 国民健康保険特別会計補正予算
- ⑤ 介護保険特別会計補正予算
- ⑥ 後期高齢者医療特別会計補正予算
- ⑦ 岩出市火葬場の指定管理者の指定



建設常任委員会

委員長	田村 耕一
副委員長	玉田 隆紀
委員	吉本 勲曜
委員	松下 元
委員	尾和 弘一

1月30日に、昨年台風12号による甚大な被害があった新宮市に、お見舞いを兼ねて行政視察に行ってきました。

新宮市では、13名が亡くなられ、今も1名が行方不明となっています。



施設がすべて流出した

「道の駅」にたたずむ慰霊碑



ここまで水がきました

被災地を訪れてみると改めて自然の猛威を実感しました。

救助のための道路の確保。的確な情報の把握。断水によるパニック。なかなか避難してもらえなかった。想像をはるかに超えた大量のごみ等の問題や課題が浮き彫りになったとのこと。今なお、現場対応に追われ、防災計画の見直しにいたっていないとのこと。

岩出市の、物的人的支援に対して感謝の言葉をいただきました。一日も早い復旧復興を心からお祈りいたします。



土石流により寸断された道路

31日には、田辺市で鳥獣被害の対策について学びました。

サル、シカ、イノシシ、カラス等の被害に悩まされている現状。捕獲方法、猟友会や地元との連携等岩出市の現状と比較しながら、意見交換しました。



楽しい生活発表会

いわで
ふおとぎやらしい
— がんばる岩出っ子 —



アスリートクラブの子どもたち

雪の舞うなかジュニア駅伝の練習に励む小学生選手



3月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。
ぜひ傍聴におこし下さい。

2/28(火)、3/2(金)、21(水)、22(木)、23(金)、26(月)

- 議会広報常任委員会
- 委員長 松下 元
副委員長 宮本 要代
委員 三栖慎太郎
“ “ “ “ “
尾和 弘一 土岐 健二 吉本 勸曜 市来 利恵 福山 晴美



内灘町の議会だより編集委員のみなさんと。

弥生三月、
今年には希望にみちた
一年であってほしい。
議会広報常任委員会
は、ご愛読いただける
誌面をめざし、石川県
白山市・内灘町で研修
をおこないました。
わかりやすい議会報告
をはじめ、皆様方の意
見をいただき、誌面の企画
に工夫をしております。

編集後記